

こらぼんWEB

Web to accelerate collaboration

「こらぼんWEB」は、全国47都道府県の公設試験研究機関やデザイン支援機関でつくる「産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会（事務局：国立研究開発法人産業技術総合研究所）」が運用管理するサイトで、会員がそれぞれの地域の資源を「お互いに流通・活用することのできる資源情報」として「こらぼんWEB」という「場」に提供し、会員で情報共有するとともに、第三者にも情報の拡散を図ることを目的としたサイトである。（サイトは2015年に完成）

こらぼんWEB開発の経緯

- 2008年：第3回デザイン分科会で、会長の及川氏（北海道）から、公設試デザイン部門の成果物の共有と発信を検討したいという旨の発言があった。
- 2009年：第6回デザイン分科会第3回研究発表会にて実験的冊子「こらぼん」として山梨県（串田／宮川氏）がサンプル配布
（掲載数5件 北海道・神奈川・静岡・山梨・広島）
- 2011年：第9回デザイン分科会にて「こらぼん」への情報追加と冊子化（500部）を決定
（会長：小堀氏・神奈川県）産地を一番知っているデザイン研究員の情報を集めて産地連携等、皆さんに役立つものをつくる。
- 2012年：第11回デザイン分科会にて「こらぼんvol.1」冊子（17機関37件の情報を掲載）を配布し山梨県（串田氏）が詳細説明。活動の継続を承認。（会長：榊谷氏・三重県）
- 2013年：「こらぼんvol.2」の原稿募集と編集の継続を説明。冊子化が難しく、電子媒体での配布を検討。（会長：榊谷氏・三重県）現在の分科会ホームページをCMS化して、各自が情報を掲載できるシステムを作成することは可能である。（野上氏・滋賀県）
- 2013年：「こらぼんvol.2」（19機関43件の情報を掲載）がPDFデータで完成。
資金調達できず冊子化は困難。（会長：榊谷氏・三重県）
- 2014年：「こらぼん」のWEB化を提言・承認。（会長：川本・大阪府）
- 2015年：「こらぼんWEB」β版完成。Vol.1vol.2の情報80点を掲載。（制作：川本・木下・野上・串田）
- 2015年：8月より運用を開始。以後、「こらぼんWEB」の活用は分科会長の申し送り事項となるが、積極的な情報の掲載は進んでいない。
- 2020年：「こらぼんWEB」の位置づけと利用促進・活性化を協議することとなった。←今ココ



「大阪製ブランド認定製品」を「こらぼんWEB」に掲載

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、人々の購買行動や意識にも変化を及ぼし、巣ごもり消費によるEC（ネットショップ等）の需要が増えていると言われています。

そこで、大阪府産業デザインセンターと大阪府ものづくり支援課では、**大阪製ブランド認定製品**、全98製品のうち**71品目**を「こらぼんWEB」（全国の公設試験研究機関のデザイン研究員等が各地の特徴ある地域資源を情報発信するサイト）に掲載し、微力ながら販促支援を行うこととしました。

本サイトでは、大阪製ブランド認定製品の特長やストーリーを紹介し、商品を購入できるオンラインショップ等の情報を掲載しています。

大阪のものづくり企業の技術力やセンスが堪能できる逸品ばかり。皆様のお買い物にぜひご活用ください！！

なお、掲載する商品は1企業1品目（1アイテム）とし、オンラインで購入できる商品（在庫切れ商品を除く）を掲載しています。また、オーダー品については、ホームページ等で購入方法が記載されているものを載せています。

入力作業は6月15日～7月17日まで。併せて「こらぼんWEB facebookページ」にもリンク情報を掲載
<https://www.facebook.com/collabonweb>





I O FRYING PAN JIU

そのお皿、実は高品質な鉄フライパンです！

大阪の小さな町工場藤田金属株式会社と、東京の小さなデザイン事務所TENTが一緒に試行錯誤を繰り返し、ようやくたどり着きました。「つくる」と「食べる」を一つにする。町工場が作る鉄フライパン「ジュウ」です。

フライパン「ジュウ」の最大の特徴は、何と言ってもその形。外周には、ぐるっとリム（ふちの部分）が作られています。リムがあるだけで、フライパンが食卓にそのまま出しても違和感のない「お皿」のような佇まいになりました。

1.6mmの厚みを持った鉄フライパンなので、お肉はジューシーに、野菜はシャキシャキに、パンや揚げ物、焼きおにぎりは、外はサクッと中はフワフワに焼けます。

調理して食器への移し替えがないので料理が冷めず、盛り付けもフライパンの上で完結、そのまま食卓へ。

リムにハンドルを取り付けるというユニークな方式を採用することで、360度どこからでもスライドさせるだけでハンドルを取り付けられます。ハンドル部分は、山形県天童市の工場ピーチとウォルナットの無垢材を削り出してつくっています。質感を活かした無塗装仕上げで手馴染みがよく、重量バランスも絶妙。

ハンドル内部は十分な強度を持った金属の構造になっていて、片手でスムーズに着脱が可能なおうえ、外しても真ん丸なのに転がらない工夫を施しています。

フライパン部分は、独自のハードテンパー加工を施しているため、使いはじめの油ならしも不要。

食べ終わったら、洗剤を使わずに水とタワシでこするだけ。後かたづけもカンタン。これがあれば、ますます料理が好きになる。

2018年度 大阪製ブランド認証商品

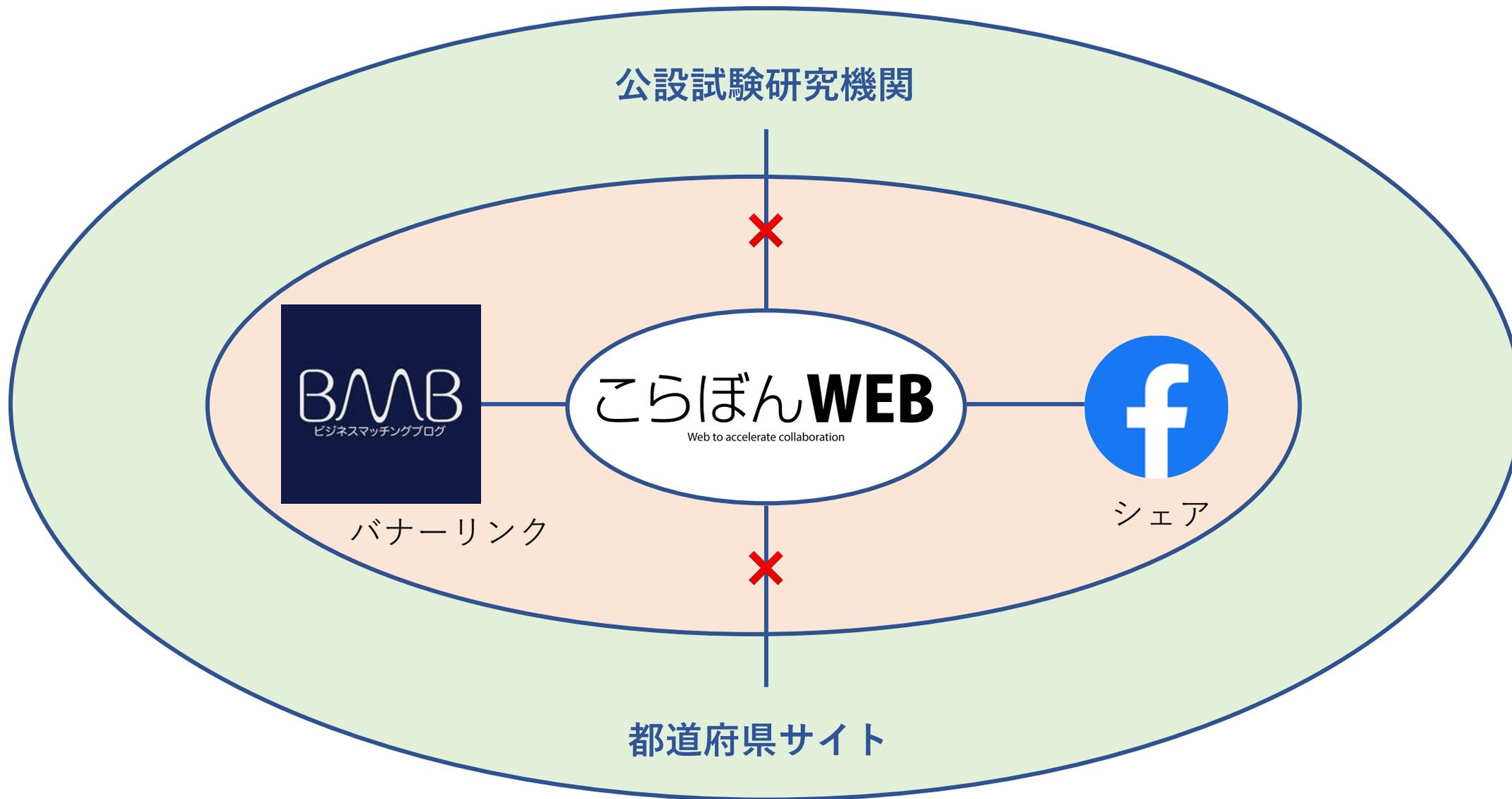
[大阪製ブランド「I O FRYING PAN JIU」](#)

[I O FRYING PAN JIU オンラインストア](#)

タグ:大阪府 近畿 素材 キッチンウェア



こらぼんWEBの被リンク状況



こらぼんWEBの諸課題

1. 情報の投稿数、投稿頻度が極端に少ない
2. 公設試験研究機関からの被リンク（バナーリンク）がないため、検索結果に上がらない
3. 滋賀県が管理しているサーバーにシステムを載せているが、永久的なものではない
4. こらぼんWEBの管理者についても永久的なものではなく、世代交代が必要
5. 産総研のサーバーにデータを移し替えることは（作業を伴うが）近い将来可能性がある
6. デザイン分科会の運営要領や開催記録、輪番情報など、重要な情報を併載している

対応策（例）

1. 分科会活動費を工面し、外部サーバーをレンタルして維持する
2. 自然消滅を待ち、その後は、facebookページ等に移行する
3. こらぼんWEBの情報は、産総研サイトに移行して掲載する